

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月2日

上場取引所 東大

上場会社名 積水化成品工業株式会社

コード番号 4228 URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 恵造

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 藤原 敬彦

TEL 06-6365-3022

四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	76,253	2.2	3,784	23.8	3,522	23.9	2,228	48.0
21年3月期第3四半期	74,603	—	3,056	—	2,843	—	1,505	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	23.50	—
21年3月期第3四半期	15.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	96,882	46,295	46.8	482.70
21年3月期	92,553	45,285	48.0	467.38

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 45,378百万円 21年3月期 44,412百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 平成21年3月期期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	4.1	4,600	11.7	4,200	8.2	2,500	18.4	26.42

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 97,976,218株 21年3月期 97,976,218株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,967,014株 21年3月期 2,951,506株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 94,821,452株 21年3月期第3四半期 97,587,917株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、世界的な景気対策の効果や、在庫調整の進展などにより景気持ち直しの動きが見られたものの、円高やデフレ傾向が強まり、依然として厳しい状況が続きました。発泡プラスチック業界におきましては、需要は全般的に回復傾向にはあるものの、原材料価格が再び上昇に転じるなど、引き続き厳しい状態にあります。

このような経営環境のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、樹脂事業における高機能品の需要回復が第2四半期以降進んだことに加え、シート事業の事業譲受などによる売上増効果により、売上高は762億5千3百万円（前年同期比2.2%増）となりました。利益面では、退職給付費用の負担増により経費が増加したものの、高機能品の需要回復や原価低減効果などにより、営業利益は37億8千4百万円（前年同期比23.8%増）、経常利益は35億2千2百万円（前年同期比23.9%増）、四半期純利益は22億2千8百万円（前年同期比48.0%増）となり、増収増益になりました。

樹脂事業につきましては、主力の「エスレンビーズ」（発泡性ポリスチレンビーズ）において、関連業界の需要減退による数量減と原料価格に対応した製品価格ダウンの影響により売上は減少しました。高機能品である「バイオセラン」（ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体）は、薄型テレビを中心としたデジタル家電関連梱包材や環境対応車を中心とした自動車部材向けに第2四半期以降需要拡大が顕著となり、売上が増加しました。「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）は、液晶テレビなど光拡散用途を中心に需要が回復しているものの、第3四半期累計では前年同期から売上が減少しました。この結果、樹脂事業の売上高は279億2千5百万円、営業利益は15億7千万円と減収減益になりました。

シート事業につきましては、主力の「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート）は、カップめん容器向けの需要が堅調だったことに加え、事業譲受による効果などにより売上は増加しました。「ライトロン」（無架橋発泡ポリエチレンシート）は、一般包材向けの需要は回復途上で売上が減少したものの、需要回復が顕著なデジタル家電部材向けの表面保護材に採用が増加しました。この結果、シート事業の売上高は381億2千6百万円、営業利益は17億2千3百万円と増収増益になりました。

建材事業につきましては、「エスレンフォーム」（押出发泡ポリスチレンボード）など建材分野において、住宅、ビル建設需要の落ち込みにより売上が減少したものの、合理化効果などにより収益性は改善しました。一方、土木分野においては「EPS土木工法」（軽量盛土工法）などが、大口工事物件が多かったため売上が増加しました。この結果、建材事業の売上高は59億9千8百万円、営業利益は3億2千万円と減収増益になりました。

その他事業につきましては、ファーストフード向け紙容器が顧客のキャンペーン商品に採用されるなど売上が増加しました。また、ヒーター関連商品やマスク商品などの売上也増加しました。この結果、その他事業の売上高は42億2百万円、営業利益は1億6千5百万円と増収増益になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、968億8千2百万円（前連結会計年度末比43億2千8百万円増）となりました。資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加などにより37億円増加し、固定資産は有形固定資産の増加などにより6億2千8百万円増加しました。一方、負債の部では、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債が29億7千6百万円増加し、繰延税金負債の増加などにより固定負債が3億4千2百万円増加しました。純資産は、462億9千5百万円となり、10億9百万円増加しました。自己資本比率は46.8%となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の流動化実施額が増加したことなどにより、前年同期に比べ55億7千1百万円収入が増加し、37億8千3百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が減少したことなどにより、前年同期に比べ1億3千9百万円支出が増加し、34億4千6百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入が減少したことなどにより、前年同期に比べ51億9千2百万円支出が増加し、14億8千万円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は50億6千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月30日に公表しました業績予想を修正いたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

1. 前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「固定資産除売却損」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「固定資産除売却損」は、40百万円であります。

2. 前第3四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めていた「貸倒引当金戻入額」は、特別利益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「貸倒引当金戻入額」は、34百万円であります。

3. 前第3四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めていた「投資有価証券評価損」及び「ゴルフ会員権評価損」は、特別損失の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「投資有価証券評価損」は31百万円、「ゴルフ会員権評価損」は2百万円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,072	6,104
受取手形及び売掛金	30,151	25,106
商品及び製品	5,974	5,981
仕掛品	189	147
原材料及び貯蔵品	1,661	1,856
その他	1,694	1,825
貸倒引当金	△98	△78
流動資産合計	44,645	40,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,248	13,822
機械装置及び運搬具（純額）	8,902	9,230
土地	16,591	15,692
その他（純額）	1,657	2,095
有形固定資産合計	41,400	40,840
無形固定資産		
のれん	172	190
その他	487	569
無形固定資産合計	660	760
投資その他の資産		
その他	10,442	10,224
貸倒引当金	△265	△215
投資その他の資産合計	10,176	10,008
固定資産合計	52,237	51,609
資産合計	96,882	92,553

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,299	14,083
短期借入金	8,560	8,651
未払法人税等	609	1,115
賞与引当金	503	990
役員賞与引当金	62	116
その他	10,075	8,178
流動負債合計	36,111	33,135
固定負債		
長期借入金	8,500	8,500
退職給付引当金	1,616	1,490
役員退職慰労引当金	69	70
その他	4,289	4,071
固定負債合計	14,475	14,133
負債合計	50,587	47,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	17,924	17,924
利益剰余金	10,554	9,319
自己株式	△1,312	△907
株主資本合計	43,700	42,869
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,448	1,183
土地再評価差額金	914	914
為替換算調整勘定	△683	△554
評価・換算差額等合計	1,678	1,542
少数株主持分	916	872
純資産合計	46,295	45,285
負債純資産合計	96,882	92,553

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	74,603	76,253
売上原価	58,322	58,072
売上総利益	16,281	18,180
販売費及び一般管理費	13,224	14,396
営業利益	3,056	3,784
営業外収益		
受取利息	16	7
受取配当金	143	122
受取補償金	140	0
その他	118	121
営業外収益合計	418	252
営業外費用		
支払利息	162	175
固定資産除売却損	—	106
為替差損	204	14
持分法による投資損失	5	1
その他	259	216
営業外費用合計	632	514
経常利益	2,843	3,522
特別利益		
退職給付引当金戻入額	—	11
貸倒引当金戻入額	—	6
投資有価証券売却益	548	2
その他	34	—
特別利益合計	583	20
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
ゴルフ会員権評価損	—	2
たな卸資産評価損	440	—
その他	38	1
特別損失合計	478	6
税金等調整前四半期純利益	2,948	3,537
法人税、住民税及び事業税	1,157	1,247
法人税等調整額	238	24
法人税等合計	1,396	1,271
少数株主利益	46	37
四半期純利益	1,505	2,228

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,948	3,537
減価償却費	2,962	2,835
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25	70
受取利息及び受取配当金	△159	△130
支払利息	162	175
持分法による投資損益 (△は益)	5	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△620	125
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	△54
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△462	△486
投資有価証券売却損益 (△は益)	△548	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	40	104
たな卸資産評価損	440	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,194	△4,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△670	203
仕入債務の増減額 (△は減少)	832	2,954
その他	△37	770
小計	△1,313	5,590
利息及び配当金の受取額	156	136
利息の支払額	△146	△206
保険金の受取額	6	29
法人税等の支払額	△490	△1,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,787	3,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△10
定期預金の払戻による収入	65	85
有形固定資産の取得による支出	△3,194	△2,683
有形固定資産の売却による収入	6	11
投資有価証券の取得による支出	△461	△597
投資有価証券の売却による収入	789	29
貸付けによる支出	△347	△295
貸付金の回収による収入	24	86
連結子会社株式の取得による支出	△4	—
その他	△178	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,307	△3,446

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,557	△92
長期借入れによる収入	4,500	—
長期借入金の返済による支出	△2,000	—
自己株式の取得による支出	△553	△405
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△759	△929
少数株主への配当金の支払額	△9	△7
その他	△23	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,711	△1,480
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,470	△1,128
現金及び現金同等物の期首残高	5,523	6,018
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	124	170
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,177	5,060

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	樹脂事業 (百万円)	シート事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	32,135	32,847	6,287	3,333	74,603	—	74,603
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	967	129	670	200	1,967	(1,967)	—
計	33,102	32,977	6,957	3,533	76,571	(1,967)	74,603
営業利益又は営業損失(△)	1,713	1,272	6	66	3,059	△2	3,056

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	樹脂事業 (百万円)	シート事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	27,925	38,126	5,998	4,202	76,253	—	76,253
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	992	134	683	200	2,010	(2,010)	—
計	28,918	38,260	6,682	4,402	78,263	(2,010)	76,253
営業利益	1,570	1,723	320	165	3,781	3	3,784

(注) 1. 事業区分の方法

製造方法に市場性を加味した事業に区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品の名称

- ・樹脂事業 — エスレンビーズ、ピオセラシ、テクポリマー、テクノゲル、自動車関連資材、産業包装材、その他樹脂関連商品
- ・シート事業 — エスレンシート、ラミネート、エスレンウッド、ライトロン、その他シート関連商品
- ・建材事業 — エスレンフォーム、エスレンネダマット、ティエスサンド、エスレンボイド、エスレンブロック（EPS土木工法）、TYKフォーム、その他建材関連商品
- ・その他事業 — 物流資材関連商品、パルプ容器関連商品、その他商品

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める本国の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める本国の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	6,389	1,627	8,017
II 連結売上高（百万円）			74,603
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	8.6	2.2	10.7

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	4,916	1,010	5,927
II 連結売上高（百万円）			76,253
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.4	1.3	7.8

（注）1. 国又は地域の区分の方法は、おおむね地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

〔アジア〕・・・中国、マレーシア、タイ

〔その他〕・・・オーストラリア、アメリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。